

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
長岡市	中之島地区（中之島、中条、上通、信条、中通、三沼、中野、西所）	令和3年3月29日	令和3年3月29日

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	2693.3ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	2267.42ha
③地区内における65才以上の農業者の耕作面積の合計	1,149.4ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	774.56ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	43.02ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	547.70ha
<p>（備考）兼業農家が多い地区。また、耕作者が高齢化していても、体力の続く限りは営農を希望している農家も多い。圃場整備もほぼ完了しており、農地集積率も約80%と高い。</p>	

※1④の数値については、アンケート結果に基づく今後の規模拡大面積の合計

### 2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積よりも、65才以上で後継者未定の農業者の耕作面積の方が多く、新たな農地の受け手の確保が必要だが、後継者不足を懸念している。</li> <li>・兼業農家が多く、現状をなんとか維持していきたいと考える農家がいる中で、こうした個人に対する必要な支援が少ないことが課題。</li> </ul>
---

### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

三沼：集落営農組織が担い、今後構成員の後継者育成をしていくことにより地域農業を守る。
西所：中心経営体である認定農業者、営農組合を中心に担うが、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。
中条：中心経営体である担い手（認定農業者、認定農業法人、集落営農組織等）が担うことで対応していく。
中野：圃場整備事業、農地集積はほぼ終了しているため、今後も中心経営体である担い手が地域農業を守っていく。
中通：圃場整備事業が完了しており、今後も中心経営体である担い手が農地を守っていく。
信条：機械利用組合と、個々の農家が地域の農業を守っているため、今後も相談をしながら担い手を調整していく。
上通：水稻においては担い手に農地の集約化をはかり、レンコン作においては、新規就農者の育成に力を入れ対応していく。
中之島：当面の間は、現在の担い手で守っていく。

注1：中心経営体への農地の集約化に関する将来方針は、対象地区を原則として集落ごとに細分化して作成することを想定していますが、その「集落」の範囲は、地域の実情に応じて柔軟に設定してください。

注2：「中心経営体」には、認定農業者、認定新規就農者、経営所得安定対策の対象となる法人化や農地の利用集積を行うことが確実と市町村が判断する集落営農及び市町村の基本構想に示す目標とする所得水準を達成している経営体等が位置付けられます。